

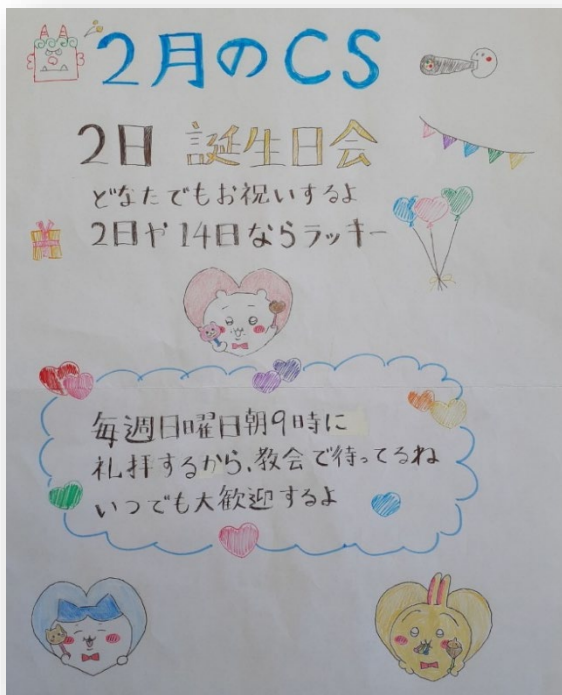
# CS だより

## 2月号

日本キリスト教団逗子教会

牧師 小宮山剛

校長 渡辺 信



### 祈りとは想像力を使うこと

神はどのように私たちに話し掛けられるのだろうか。……祈りをささげる……すると神はいらっしゃる。神にしかおできにならない優しいなさり方で、そっと私の心をご自分の思いとヴィジョンで満たしてくださる。

◆ジョン・パウエル



暖冬かと思えば2月になって寒さが募る日もありますね。どうぞ、健康に気を付けて、1日1日を大切に過ごしてくださいね。特に受験生の皆さん、お守りをお祈りしています。

### ある日の説教から

#### 「ぶどう園の労働者のたとえ」

マタイによる福音書20章1～16節

天国のたとえ話として、ぶどう園の主人と労働者のやりとりが描かれています。

ぶどう園の主人は夜明けに広場に出かけていき、一日働くと1デナリオンの賃金を払うという約束で労働者を雇い、ぶどう畑に送ります。しかし主人はその後一日に何度も広場を訪れ、何もしないで立っている人に「あなたもぶどう園に行きなさい」と声をかけ、同じように労働者を雇います。夕方になり、仕事が終わると、主人は監督に、最後に来た人から順に賃金を払ってやりなさいと言いました。そこで、まず夕方の17時に雇われた人が賃金として1デナリオンをもらいました。その後、朝から働

いていた人も賃金をもらいにきて、もっと多くもらえるだろうと期待していましたが、蓋を開けてみると、夕方から来て 1 時間しか働いていない人と同じ 1 デナリオンだったので、主人に文句を言いました。

このたとえ話を読んで、みなさんはどう感じたでしょうか。



朝早くから暑い中一日中働いた人も、夕方の 17 時に来て 1 時間しか働いていない人も同じ 1 デナリオンをもらっていたのです。朝早くから雇われた人も、もともと 1 日 1 デナリオンの約束だったので、主人は約束を破ったわけではありませんが、多く働いた人はその分多く賃金をもらえるというのが私たち人間の常識ですので、主人に文句を言うのも当然です。このたとえ話では、ぶどう園の主人は神様を表していますが、なぜ神様がこんな不公平にも思えることを

なさるのか、不思議に思った方もいるのではないのでしょうか。

さて、私たち人間の立場から考えてみましたが、今度は視点を変えて、主人、つまり神様の立場からもう一度読んでみましょう。

主人は、一日のうちに何回も人々を雇っています。朝早くと、午前 9 時、正午、3 時、そして、5 時です。主人としても、朝から晩まで一日中働く人を最初から雇わなければ損をします。なぜ主人はこんなにも割に合わない雇い方をするのでしょうか。実は、主人は自分の利益のために雇っているのではないのです。人々を雇いたい、賃金を払いたいと思って広場に赴いています。

ここで、神様が私たちに救いの手を差し伸べている姿が現われています。神様は何とかして一人でも多く、罪から救われて神様に繋がる者となってほしいと願っているのです。17 時から 1 時間しか働かなかった人は朝早くから働いていた人からみれば、同じ賃金をもらってずるいと思うわけですが、彼らは広場で主人に「だれも雇ってくれないのです」と言っています。怠けていたわけではないのです。その人は養わなければならない家族がいたかもしれませんし、その日の生活すらままならない状況だったかもしれません。主人は、一日中雇ってくれる人がいないまま絶望的な状況の中で待っている彼らを見て、憐れんだに違いありません。そして、その彼らにも主人は声をかけ、1 時間しか働くことができないのに、彼らを雇い、1 日分の賃金を支払ったのです。彼らはどんなに喜んだでしょうか。

このたとえ話は、つい朝早くから雇われた労働者の立場から考え、理不尽な話だと捉えてしまいがちですが、不平を言った者たちには、「一日中立って仕事を求めていたのに、だれも雇ってくれない」と不安や焦りを抱えていた者たちの状況を思いやることができなかつたのです。

さて、私たちはここに登場する労働者のうち、何時に雇われた者でしょうか。私自身は、間違いなく夕方の 17 時に雇われて 1 時間しか働かなかった人だと思っています。朝から働いていた人と同等の 1 デナリオンをもらう資格がない、つまり神様に救っていただく資格がない罪人であるにもかかわらず、神様は見捨てず、呼びかけてくださいます。何時に雇われたかは問題ではないのです。すべての人に分け隔てなく与えられる神様の愛に気づかされます。

朝早くから働いていた労働者が文句を言った時、主人は「わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ」と返していますが、まさに神様の恵みの大きさ、寛大さが表れている言葉だと思います。この御言葉に感謝を持って歩みたいと思います。

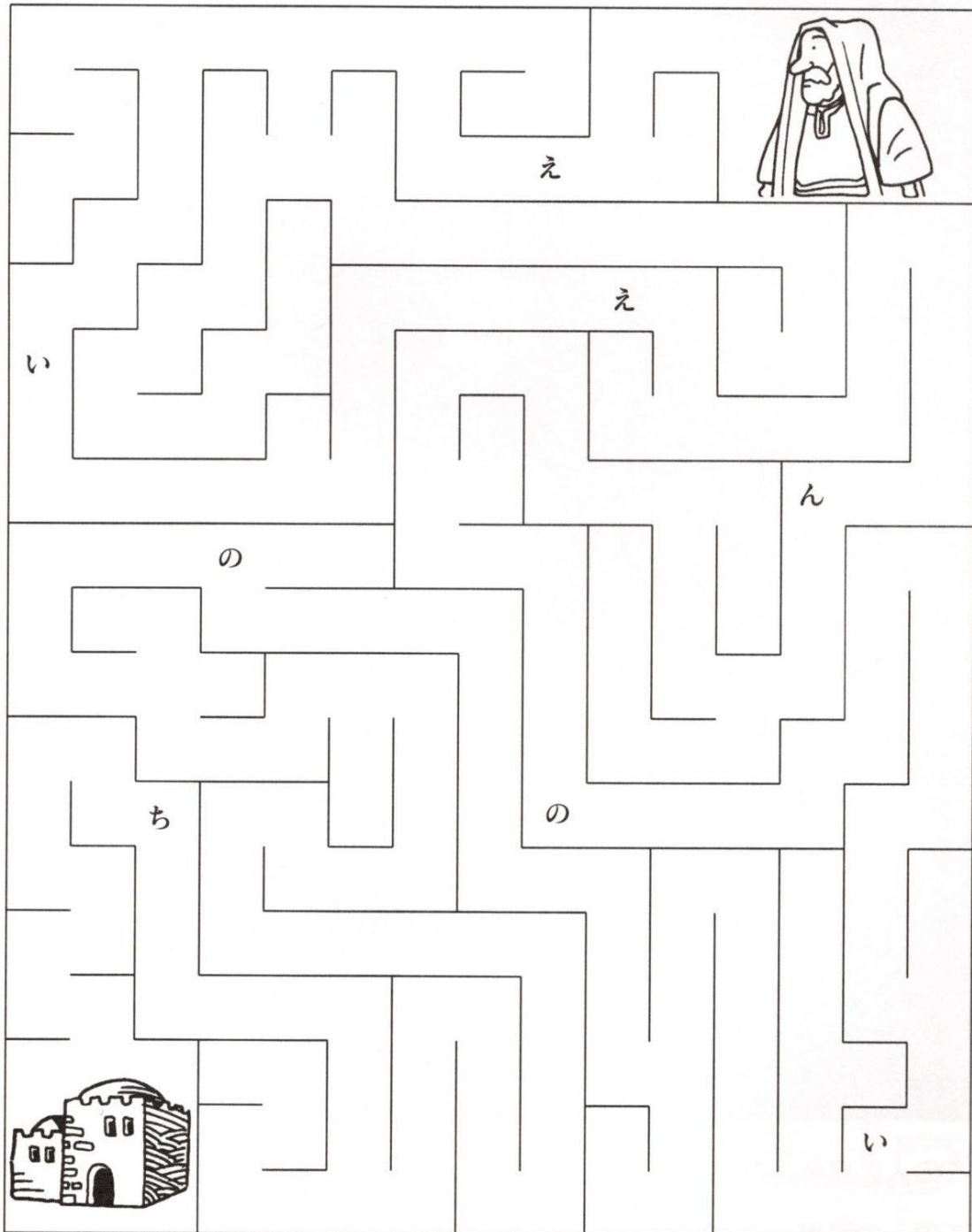
<A. K>

# 今月のパズル

## イエスさまをたずねるニコデモ

ヨハネの福音書3章1～15節

ニコデモが、こっそりイエスさまをたずねました。文字を拾いながら行くと、ニコデモがほしかったものがわかります。



「こひつじたちのあいうえお」から

今月は「き・・・偽善者」

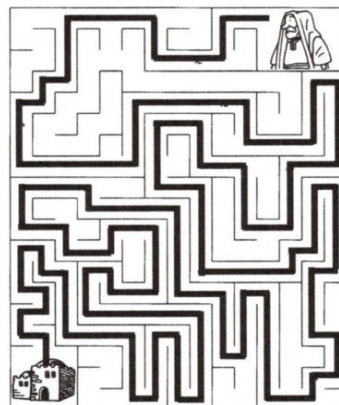
## 偽善者



偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。  
そうすれば、はっきり見えるようになって、兄  
弟の目からおが屑を取り除くことができる。  
(マタイによる福音書7章5節)

パズルの答

イエスさまをたずねるニコデモ



えいえんのいのち

**これからの予定（詳細は次号に）**

**3月5日～レント（受難節）**

イエスさまが十字架への道を歩んでく  
ださったことを覚える時です

**4月20日イースター（復活祭）**

イエスさまの復活をお祝いします

**\*3月30日には、CSの進級式を行います**